



中学 brassバンドのバイバイコンサート (22日)

やまびこ
2020

3

「ニコニコと働く」

幼いころ過ごしたキャンパスには多くの宣教師が住んでいた。金曜日の午後ともなると遊びに夢中になり、ハナをたらしながらかけずり回っていたが、ふと目を上げると、普段はスッと長身でネクタイ姿の「外人」の先生が、オーバーオール姿で作業をしていた。ニコニコとペンキを塗り、ニコニコとトラクターを運転し、ニコニコと詰った下水管を修理していた。「この人達何でもするんだな、嬉しそうだな」と、普段は近寄りたがたい「ミSSIONナリー」のイメージが変わったものだ。

もともと自給伝道学校として始まった三育教育は、このような宣教師達の献身的な働きによって成ってきた。彼らは祖国から遠く離れ、文化も風習も全く異なる日本の地において、福音の光を輝かせたいと、できることは何でも自分達でした。修理修繕などはお手の物だ。科目を教える教員であり、信仰生活のリーダーであり、施設を支える労働者でもあった。三育教育の目指す「人の姿」の、生きた模範だった。

無いものは作る、物を大切に作る、壊れたものを自分で直す、などの感覚は現代人の中から薄れているような気がする。とくに若い世代は、無いものは買う、だめなものは買い替える、果ては捨てるというところが当然のこととなっているが、生きる姿勢としてそれでいいのかという疑問が残る。

先人の自給伝道者魂をDNAに受け継いでいると確信している私達は、あの宣教師達に倣い、作り、直し、修復することを大事にしている。キャンパス内の石積みも、外壁塗装も、車庫も、ログチャペルも、高校チャペルのパイプオルガンも、ピザ釜も、農作物も、全て教職員と生徒達が力を合わせて作ったものである。この時代において、とてもアナログな作業をしてきたし、それを今でも大切にしている。できることは限られていて、できあがったものも完全ではないが、それでいいのだ。

このようなことを通じ、生徒達は自助の精神と生きる姿勢を身につける。浪費しながら自分の欲を満たすライフスタイルに品性が伴うことは難しい。しかし、与えられたものに感謝しつつ、それを大切にする思いを神様は祝福してくださる。またそれが生徒それぞれの、今後の生き様に反映されることを強く願うのだ。

祈り、学び、働きつつ前進。

校長 田淵 裕

■ **新型コロナウイルスへの対応について** 2月27日の安倍晋三首相による全国の小中高校に対する休校要請を受け、広島三育学院では、帰省日を3月11日(水)から9日(月)に変更いたしました。また、新学期に入ってから校内感染を防ぐため、春休み期間中には健康観察報告書の記録と、帰校日前日までの提出をお願いする予定です。新型コロナウイルス感染が一日も早く収束に向かいますようご加祈ください。

高 スキー修養会 3日～7日

4泊5日で新潟県妙高まで修養会に行きました。今回は行き帰りの行程でも安全が守られ、現地では病人や大きな怪我人もなく過ごすことができ、恵まれた修養会でした。一方、リフトが故障で1日使えなくなるというトラブルが発生したり、豪雪地帯妙高でもなかなか御目にかかれないく



らいの積雪と吹雪に見舞われるなど、良いことばかりではありませんでした。しかし、その中で生徒達が前向きに周囲に気持ちの良い雰囲気を作りながら行動していたことを、現地のスタッフの方々にも喜んでいただくことができ良い証になりました。全日程において神様の守りがあったことに感謝します。(学年主任・)

高 TAP (徳地アドベンチャー教育プログラム) 4日～6日

1年生の学年全体でキャンパスを出るという、初めての行事で、それぞれいろいろな思いを抱いてTAPへと向かいました。ある人は、高いところが苦手だと不安を抱いたり、反対にアドベンチャー好きの人は、本当に楽しみにしていました。

四つの班に分かれて、与えられたミッションを一つずつクリアしていくというプログラムでしたが、クリアするためにいろいろな条件が与えられ、みんなで意見を出し合って団結しながらクリアしていきました。そして、ミッション終了後には、チームの良かったところや改善点などそれぞれ思ったことを話し合いました。それによってお互いの意外な一面や考えを知ることができ、友達の輪も広がり、距離も縮まりました。

また、夜は星観察のために周りの電灯が消されるので、みんなできれいな星をたくさん観ることができました。キャンパスでも四六時中一緒にいる友だちですが、忙しい生活からいったん離れて、みんなとの交わりを大事にする3日間は本当に良い経験となりました。この三育で、たくさんの素敵な友だちと出会わせてくださった神様に感謝したいと思います。(1年・)

中 バレーボール大会 12日(水)

振替休日のこの日、全校生で恒例のバレーボール大会を

行事報告

行い、楽しい休日を過ごしました。互いに励まし合いながら団結力あふれる力強いプレーがおこなわれ、和気あいあいとした雰囲気の中、バレーボールを楽しむことができました。



中 卒業祈禱週 16日～22日

2月の慌ただしい日々の中で、神様の特別な御守りの内に卒業祈禱週を行うことができました。3年生の説教はどれもとても素晴らしく、聴衆にとって大きな祝福となりました。そのメッセージは後輩たちの心にも確かに響いたようです。

しかし、それ以上に説教者たちが祝福されたのではないかと思います。3年生にとって卒業前の忙しい日々の中だからこそ、じっくりと「信仰」と向き合うときを持つことは間違いなく必要な経験です。その中で今回、2名の2年生にバプテスマの決心を与えてくださった御霊の働きを讃美いたします。3年生一人ひとりが自身の語ったこと、また友の語ったことをこれからも心に留めて神様の御手の内で新しい道を歩まれることを願います。(チャプレン・)



中 バイバイコンサート 22日(土)

中学プラスバンドによるバイバイコンサート。今年は『令和初のバイコン!～This is the Greatest show～』をテーマに7曲演奏させていただきました。中学生は高校入試、バレーボール大会、卒業祈禱週など忙しい2月でしたが、それぞれの思いが一つになり当日を迎えることができました。まるで一つのSHOWを



見ているような気持ちで聞いて欲しいと考え作られた装飾や演出、丁寧にわかりやすく曲紹介をしながら進めた司会進行など、会場に足を運んでくださった方の笑顔を作りたいというプラスバンドメンバーの気持ちも感じることができる時間となりました。3年生はこのコンサートでプラスバンドを引退する形になりますが、これからも音楽と共に誰かの「笑顔」を作っていくことを期待しています。(プラスバンド顧問・)

Schedule for the Activities

中学校

5日(日)	3年生帰校日/始業式
6日(月)	2年生帰校日/始業式
7日(火)	新入生入寮日
8日(水)	入学式(9時15分～)
13日、14日	数研式テスト
16日(木)	(午前)スポーツテスト (午後)健康診断
20日～24日	3年生修養会
21日～22日	1,2年生一泊旅行
26日～5月2日	春季祈禱週(仲泊大輔牧師)
5月3日	オープンハウス

高等学校

5日(日)	役員帰校日
6日(月)	在校生帰校日
7日(火)	始業式・新入生入寮日
8日(水)	入学式(11時～)
16日(木)	(午前)健康診断 (午後)スポーツテスト
22日(水)	(振替休日)球技大会
26日～5月2日	春季祈禱週(北睦夫牧師)